

役員会開催

月二百回を超える

「さわやか」を二分割に

九月三十日(土) 十五時より「さわやか」の役員会を行いました。

昨年九月に発会式をし、十月一日から実質的に活動を始めましたが、ボランティアの皆様のご協力のおかげで、順調に推移してきました。

九月で一周年をむかえますので、総会を開催することを決定しました。総会は九月二一日十三時から小倉北中央公民館第二会議室で行います。

今回はボランティアの皆さんの中から五名代表を選出します。毎年、交替で五名ずつ出席をいただくとともに、計画しています。尚、総会に出席したい方は、事務局に申し込んでください。出席を歓迎します。

八月十五日付け「市政だより」に市障害福祉課のご協力により、ボランティア募集の記事を載せてもらい、新しいボランティアさんが増えてい

ます。そのことも含め、一カ月の送迎が二百回を超えることができそうです。当初は三十回にも満たない所から出発したことを思えば、感慨深いものがあります。

そのこと

毎月、先月の送迎回数を追越し、先置格である平塚市の送迎回数的一年分を一カ月でするにいたりました。

十一月には、第三回ボランティア研修会を忘年会を兼ねて開催する予定です。楽しみにしててください。

障害者は声をあげよ

マイナスイメージを変えるため

さわやかボランティア 下畑 和幸

さわやか第8号で、北九州市に雇用を陳情という記事が載った。働きたいのに働けないのは本当に苦しいと思う。改めて透析を行っている方々の苦勞を感じた。同時に日本社会は障害者と触れ合う事が少ないからうまく付き合えないんだよな、という思いがある。平均的日本人の障害者

のイメージは「何もできない弱者で、社会の片隅でひっそりと生活している」というものではないか。私も三年前にボランティアを始めるまではそうだった。このマイナスイメージを変えるのは障害者といわれる人たちが自分から外に向かって出てゆくことである。

ボランティア数も六十余名になり、全ての面で煩雑を究めることになりつつあります。そこで、役員会は、「さわやか」を八幡地区と小倉地区に二分割することに決めた。総会に諮ることになりました。

市障害福祉課の了承を受けていますので、事務所とコーディネーターが見つければ、すぐにでも発足可能な状態です。来年四月発足を目前に準備をすすめることにしています。

第2回 通院介護センター「さわやか」総会

時；9月21日13時より

所；小倉北中央公民館第二会議室

ボランティアの方で出席ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

通院介護の利用状況

1997年8月31日現在

送迎回数

ボランティア数	62名
利用登録者	38名
実利用者	28名
内車椅子利用者	12名

10月	30回	4月	168回
11月	82回	5月	162回
12月	91回	6月	126回
1月	98回	7月	174回
2月	108回	8月	151回
3月	113回		
9月は200回を超える予定です。			

ボランティアの皆様の奮闘の成果です。今後ともよろしくお願ひします。

八月末日現在の通院介護の利用状況の結果が事務局より発表されました。昨年十月に発足して、早く一年になるつとしていきます。当初は三十回から始まった通院介護事業が、ご覧の実績をあげてきました。基本的には毎月伸びたといっても過言ではありません。

六月は患者さんの入院が重なり、その上にボランティアさんまでが入院というアクシデントに見舞われ、若干回数が減少しました。八月は盆休みも頑張ってくれたボランティアさんもいらっしやいましたが、若干減りました。九月はボランティアさんの増加もあり、二百回を超える予定です。